

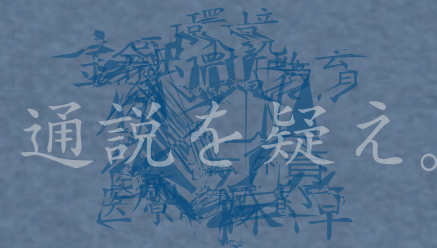
KANEKO SEMINAR 2010
RECRUITING BOOK

慶應義塾大学経済学部金子勝研究会

脳力にイノベーションを。
脳力にイノベーションを。

通説を疑え。

ハングリーな学生たちよ、 最高に満足できる環境がここにある。



金子勝研究会は、13人程度の少数精鋭ゼミです。
徹底的に戦うことのできる環境は、ハングリー精神を満たします。

強敵1：同期

例年、肉食獣のような学生たちが集います。常に競争するフィールドが与えられ続けます。絶え間の無いストレスがハングリー精神を満たします。

強敵2：先輩

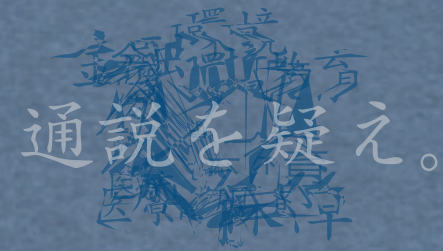
「全然ダメだね」としか言わない先輩たちが、3年生の相手になります。論破すべき対象が上の代に13人もいるので、ハングリー精神が刺激されます。

ラスボス：金子勝

挑みにいくたびに、ぼこぼこに言い負かされる最強の敵が毎週必ずゼミにきます。金子勝の圧倒的なパワーを眼前に、我々のハングリー精神は最高潮に達します。

ディベート。

毎週、アツき戦いが繰り広げられる。



金子勝研究会では、4～6月までの間の約10回、一冊の本を題材に4チームに別れてのディベートを行ないます。

擁護班（1チーム）

題材となる本の著者を守る立場です。題材となる本だけでなく、その著者の多くの本を読み、主張を守り通すことが求められます。

批判班（2チーム）

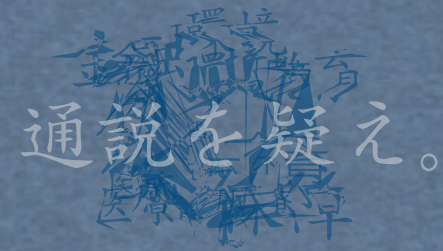
題材となる本の主張を徹底的に批判する班です。その著者の対論を唱えている論者の主張などを参考にしながら、データを用いて著者を批判します。

司会班（1チーム）

擁護班と批判班の議論を円滑に進行する役割を担う班です。一体、どのような議論がなされているのか、全体像を把握することが求められます。

三田祭論文作成。

13人ワンチームの論文作成を目指す。



金子勝研究会では、7～11月までの間の約5ヶ月間、三田祭に向けて、13人全員で一つの論文を完成させます。

テーマ決め

テーマはゼミ員全員で決めます。
もめにもめてしまうのが恒例です。

合宿

夏合宿と秋合宿を行ないます。
大まかなストーリーが完成します。

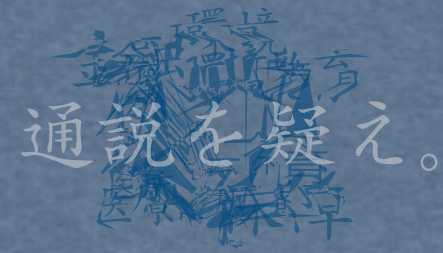
一人当たりA4にして20枚以上の文章を書くのが通例です。編集はまさに地獄です。

執筆

三田祭での発表会を行います。
例年多くの学生が見に来てくれます。

発表

インゼミ。相手のフィールドで、 圧倒的なパフォーマンスを発揮する。



金子勝研究会では、11月末に京都大学と横浜国立大学との
インゼミ（ディベート）を行ないます。実力を発揮する場所です。

今までの活動の成果を体感することができます。
例年、圧倒的なパフォーマンスで相手を
論破することができます。

議論のテーマは事前に打ち合わせをします。
我々は敢えて敵チームのフィールドで勝負す
ることが好きです。

『タイマン張ったらダチだ！』
と言わんばかりに、インゼミの後は和やかに
懇親会を行います。優秀な学生と交流する良
い機会です。

司会

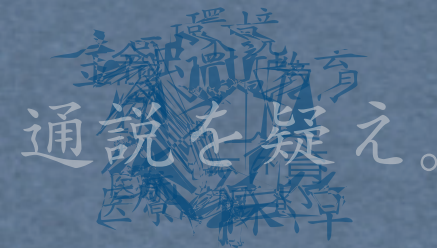
例年、院生が行なってくれます。

金子ゼミ

V S

京大・横国

厳格な選考フロー。 優秀な学生が集うゼミ実現のために。



当研究会は3段階の選考課程を踏んでいます。
厳格な選考プロセスは、より良質な学び舎を実現します。

事前レポート

例年、時事問題に関して、出題されます。文量はA4、3～7ページです。
論理的思考力が問われます。

筆記・エッセイ

マクロ経済学の語句説明の問題と、経済学・時事問題に関する小論文が出題されます。
時間が足りないので、十分に対策を行ないましょう。

教授・ゼミ員面接

個別面接（グループ面接）が行なわれます。みなさんのこれまでの経験や価値観が
金子勝研究会にとっていかに魅力的であるのか、我々に売り込んでください。